未来への心をつなぐパートナー

みらいろ

農をはぐくみ地域をつなぐ

つなげる、地域の輪
JAふくしま未来 5th ANNIVERSARY

2021 3月号
VOL.61

JAふくしま未来

JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。

旬な農産物

いちご
Strawberry

ビタミンCが豊富で、風邪予防や美肌づくりに効果が期待できます。ヘタを取ってから洗ってしまうと、水っぽくなり、ビタミンCが流れ出てしまいます。そのため、食べる直前にヘタを付けたまま洗いましょう。
ヘタの近くまで赤く色づき、ヘタの緑色が濃く、乾いていないものを選びましょう。

旬の生産者
表紙の人

福島市岡部
八巻　光 さん（33歳）
就農８年目
栽培品目：いちご
栽培面積：17a

みらいろ

Contents

03 旬の生産者　表紙の人
04 特集
広報誌が変わる
「みらいろチャンネル」登録してみよう
08 J-FAP ふくしま魅力発見
10 みらいろトピックス
15 営農情報
20 農業女子
22 みらいろ作品展
24 元気にすくすく「みらいっ子」
25 福島大学　学生日記
26 みらいろポイントカード協力店
27 進めよう！国消国産
28 ドローンで見るふくしま未来
お知らせ
30 クロスワードパズル
31 家庭菜園のススメ
32 今月の直売所出荷者さん
イベント情報

若手農家の代表として地域農業を支える八巻さん

日々の管理から作物にストレスを与えない

福島市岡部でイチゴ専門の農業に取り組む八巻光さん。会社勤めを経験し、25歳の時に就農しました。短大卒業後1年間、栃木県のイチゴ農家に住み込みで栽培技術などを学び、今のイチゴ栽培に活かしています。今では、地域の農業後継者クラブ「岡山農業樹立クラブ」の会長を務め、地域農業を盛り上げます。

栽培するイチゴはすべて「とちおとめ」。5年前に環境制御システムを導入し、急激な温度や湿度変化などイチゴにストレスを与えず、病気を出さないように日々の管理を大切にしています。「まだまだ農業は勉強中」と話す八巻さん。毎年、違う資材を導入し自分に合ったベストな農業経営を模索しています。

今後の目標については「高設栽培を導入し、作業効率を高め規模を拡大したい」と話します。

広報誌が変わる

いつも広報誌「みらいろ」をご愛読いただきありがとうございます。
３月に入り、JAは新年度を迎えました。１年間、皆様に親しんでいただいた広報誌ですが、新年度を迎えるにあたってリニューアルいたします！
今回の特集では、そんな新生「みらいろ」の変わったところや読みどころなどをご紹介いたします。

❶質感が変わります

これまでの広報誌は一般的なコピー用紙と同様の質感の「上質紙」で落ち着いた雰囲気でしたが、３月号より「マットコート紙」を使用します。表面がコーティングされていて光沢がありますが、マット調の用紙のため、光の反射が少なく文字が読みやすくなっています。
また紙質の特徴により、写真はより鮮やかで立体感ある仕上がりになり、現場の温度感がさらにリアルに伝えられます。

New

❷フレッシュな表紙に

今年度の表紙を飾るのは「若手農業者」！農業の持続的発展に向けて、次世代を担うフレッシュな農業者にスポットを当て、旬の農産物や独自の取り組みなどをご紹介します。
情熱溢れる若手農業者の元気を、読者の皆様にお伝えします。

❸「J-FAP」が魅せます

昨年12月に結成したJAふくしま未来の農産物PRチーム「J-FAP（ジェイファップ）」のメンバーが、管内の農産物や生産者、旬の農産物を使った簡単おいしいレシピを紹介します。
メンバーが毎月、旬を迎える農産物を生産する農家のもとを訪れ、生育状況やおいしさのポイントなど、農家とのふれあいでふくしまの魅力を発掘・発信していきます。
「魅力発見」の様子は、YouTubeのみらいろチャンネルで「J-FAPの農家におじゃまします！」「J-FAPクッキング」の動画でそれぞれ配信します♪J-FAPメンバーらが明るい笑顔で、ふくしまのおいしい楽しいを届けます!!

❹頑張る素敵女子を紹介します

最近、耳にすることが増えてきた「農業女子」。その名の通り農業に従事する女性のことをいいます。農作業しながらキラキラ輝く農業女子の姿を読者に届けます。

❺福大生日記

福島大学食農学類教員の方々に２年間お願いしてきたコラムの連載ですが、本年度は学生にバトンタッチ。学生ならではの視点で食や農業について自由に執筆していただきます。食農学類生の皆さん、よろしくお願いします!!

❻SNSを活用します

広報誌とSNSを連動させ、より幅広い世代に向けて情報を発信していきます。
ピッとQRコードを読み取ることで、広報誌では見られなかった写真や動画、記事などをお楽しみください！

広報誌「みらいろ」
今後ともよろしくお願いいたします！

「みらいろチャンネル」チャンネル登録をお願いします

　JAでは、動画共有サービス「YouTube」を活用し、「みらいろチャンネル」という独自のチャンネルを運営しています。「みらいろチャンネル」では、組合長のあいさつ動画や管内の旬の農産物、ドローン動画、農産物の栽培方法動画などを配信し、全国各地にJAのPRをしています。

　この機会に「みらいろチャンネル」のチャンネル登録をして、旬な情報を手軽にお楽しみください。

◆チャンネル登録は**無料**です。会費や利用料はかかりません。※閲覧には通信料が発生します

◆チャンネル登録をすると、登録したチャンネルの動画がYouTubeを開いたときに表示されるようになったり、「登録チャンネル」のタブで、登録したチャンネルの動画を一覧表示で見ることができます。

実際にチャンネル登録をしてみましょう。

STEP 1　「みらいろチャンネル」を検索

⇒QRコードの読み取りでも簡単に登録できます！

「みらいろチャンネル」で検索し、「みらいろチャンネル-YouTube」を表示します。
（YouTubeアプリをお持ちの方はアプリ内で検索することができます。）

チャンネル登録をクリックし、**登録済**になれば完了です。
Googleアカウントを取得している場合は、簡単に登録できます。
Googleアカウントを取得していない場合はステップ2へ。

STEP 2　Googleアカウントを取得しましょう。

チャンネル登録をクリックし、Googleのログインページが開いたら「アカウント作成」をします。「自分用」を選びます。

名前、生年月日、性別を入力し、パスワードを設定します。

アドレスを設定します。
※半角英数字、希望のアドレスが設定できます

本人確認のため電話番号を入力し、送られてきた確認コードを入力すると設定が完了します。

「プライバシーポリシーと利用規約の同意」に同意し、みらいろチャンネル画面から再度、**チャンネル登録**をクリックすると登録完了となります。

皆様に「みらいろチャンネル」をお楽しみいただけるよう広報課一同邁進してまいります！！

JAふくしま未来

J-FAP ふくしま魅力発見 vol.01

ふくしまのおいしい楽しい届けます

神田さんは伊達地区いちご生産部会で部会長を務めます。10棟のハウスでイチゴ24ａを栽培。品種はとちおとめがメインです。11月中旬から６月中旬頃まで出荷が続きます。

ハウスにおじゃますると、イチゴのあま～い香りがふわっと香ってきてとても幸せな気持ちになりました。

J-FAP（ジェイ ファップ）は、JAふくしま未来の職員で構成されたPRチーム。「JAふくしま未来農産物PR」という意味の英語「JA FukushimaMirai AgriculturalProducts PublicRelations」が由来です。管内の農産物の魅力をお届けする中で、生産者や消費者と良好な関係づくりを目指していきます！

Q 今年の生育はどうですか？

A 生育状況は平年並みです。甘みと酸味のバランスがいいおいしいイチゴが出来ました。

Q 出荷のピークはいつ頃ですか？

A 2番果のピークに入ってきました。（2月初旬撮影時）3月中旬頃までピークが続く見込みです。

伊達市保原町でイチゴを生産している神田勇雄さんのハウスで旬のイチゴの魅力を発見してきました。

J-FAP みおり 澪梨

Q おいしいイチゴを生産するための工夫を教えてください。

A 環境制御を取り入れました。現在ハウスの中がどのようになっているか確認することで、ハウス内の見える化を図っています。１番気を付けているところは「炭酸ガス」です。日射時にハウス内に炭酸ガスを充満させることで光合成が盛んになり、実の肥大がすすみ、味が良くなります。

神田さん、いつもおいしいイチゴの生産ありがとうございます。これからもよろしくお願いします！

「みらいろチャンネル」
★農家におじゃまします！
★J-FAP クッキング
動画公開中！ご覧ください。

J-FAP クッキング

サクッとおいしい イチゴパイ

材料（約２個分）

- ○イチゴ …… お好み
- ○パイシート（冷凍） …… １枚
- ●卵（全卵） …… １個
- ●砂糖 …… 70ｇ
- ●牛乳 …… 200㎖
- ●薄力粉 …… 大さじ１
- ●バニラエッセンス …… 適量
- ○卵黄 …… １個
- ○粉砂糖 …… 適量

J-FAPポイント★
イチゴはヘタを取らずに洗いましょう！
ビタミンCが流れ出てしまいます。

作り方

＊オーブンを200℃に予熱します。
＊パイシートはパッケージの表記通り解凍します。

❶大きめの耐熱容器に●の材料を入れ、泡だて器で混ぜ合わせます。ふんわりとラップをかけ、600ｗの電子レンジで２分ほど加熱し、さらに泡だて器で混ぜます。
❷再度ふんわりとラップをし、600ｗの電子レンジで１分ほど加熱し、泡だて器で混ぜます。２回ほど繰り返し、水っぽさがなくなりもったりしてきたらしぼり袋に入れます。
❸イチゴは半分に切ります。
❹パイシートは半分に切り、正方形にします。三角形に折り2ヶ所に切り込みを入れます。開いて切り込みを入れた部分を折り込み、ひし形にします。
❺❷のカスタードクリームをしぼり、縁に溶いた卵黄を塗ります。
❻200℃のオーブンで焼き色がつくまで、15分ほど焼きます。焼きあがったらイチゴをのせ、粉砂糖をまぶしたら完成です。

みらいろトピックス

1月下旬から2月中旬にかけての出来事を紹介します。

TOP NEWS

2月1日

花卉販売高10億円計画
県内初の花卉共選施設完成

全国有数の花卉産地であるＪＡ管内に県内初となる花卉共選施設が完成しました。６月の小菊出荷時期より稼働を開始します。

同施設では令和３年度小菊出荷計画１，４００万本のうち２００万本を受託選別、５年度には４００万本を目標とし、花卉全体の販売高10億円を計画します。

同施設の稼働により共同出荷体制の整備、高齢化する栽培者の労力軽減につなげるとともに新規栽培者が参入しやすい環境整備を図り、産地拡大に取り組みます。

施設には結束重量選別機を４台導入。これまで栽培者が行っていた選別や箱詰め作業を受託し、栽培者の労力軽減を実現します。

引渡式では、ＪＡの役職員らが請負業者から設備の説明を受けました。数又清市組合長は「共選により付加価値を付け、さらに生産・販売を拡大していく」と話しました。

▲設備の説明を受ける数又組合長ら㊨

▲福島市成川に完成した新花卉共選施設

TOP NEWS

2月2日

J-FAP本格始動　PR動画撮影
ふくしまのおいしい楽しい届けます！

ＪＡの農産物ＰＲチーム「Ｊ-ＦＡＰ（ジェイファップ）」は、農産物のＰＲ動画の作成を始めました。生産者との交流やレシピなどを通じて農産物の魅力を発信します。第１弾は旬を迎える「イチゴ」です。

動画は、農産物のＰＲ動画と旬の食材を使ったレシピ動画の２本。Ｊ-ＦＡＰのメンバー12人が、モモやキュウリ、花卉、畜産など12品目を毎月紹介します。

ＰＲ動画第１弾は、澤梨さんが旬のイチゴをＰＲ。ＪＡ伊達地区いちご生産部会の神田勇雄部会長のハウスから、生育状況やおいしさの理由など農産物の魅力や産地の情報を発信します。レシピ動画では「サクッとおいしいイチゴパイ」を作成しました。

▲イチゴの魅力を届ける澤梨さん㊧と神田部会長

▲イチゴパイづくりに挑戦する澤梨さん

動画はこちら

チャンネル登録
＆いいね
よろしくお願いします

2月5日

エコバックとウッドバッチ贈る
女性部にＳＤＧｓアワード「組合長賞」

第４回ＳＤＧｓアワードで「ＳＤＧｓパートナーシップ（特別賞）」受賞を受けて「組合長賞」贈呈式を開きました。ＳＧＤｓに最も貢献したとして女性部にエコバックとウッドバッチを贈りました。

ＪＡは、災害とコロナ禍から食と農を基軸とした復興と「誰も取り残さない」地域社会づくりに貢献したことが評価され、ＪＡグループとして全国初の「ＳＤＧｓパートナーシップ賞（特別賞）」を受賞。その中でも、地域の子どもや高齢者への手作りマスクの寄贈、包括連携協定を結ぶ被災地への支援などの活動を行った女性部に、ＪＡオリジナルＳＤＧｓエコバック500個とウッドバッチ100個を贈りました。受賞した女性部本部の富田キヨ部長は「ＳＤＧｓを広げられるように、これからも活動していきたい」と話します。

贈呈式には、数又清市組合長や女性部役員らが出席。数又組合長は「受賞できたのは皆さんの力のおかげ。今後も協力しあい一丸となって取り組んでいきたい」と感謝を述べ、エコバックとウッドバッチを手渡しました。

▲組合長賞を受け取る女性部役員ら

2月2日

伊達地区きゅうり生産部会
過去最高の販売金額

伊達地区きゅうり生産部会は、令和２年度の販売金額が過去最高の26億５，０００万円となりました。施設作型の増加による長期安定出荷が奏功しました。

２年度実績は販売数量６，３８８ｔ、販売金額26億５，０４８万円となりました。

桑折総合支店で開いた通常総会には、部会員やＪＡ役職員ら44人が出席。同部会の佐藤清和部会長は「今年度は日本農業賞集団組織の部で優秀賞を受賞できた。来年度も良い年となるように頑張りたい」とあいさつしました。

▲あいさつする佐藤部会長

1月29日

営農指導員剪定の勉強会開催
梨剪定を科学する

福島地区本部は営農指導員向けの梨剪定勉強会を開き、果樹栽培の基本である剪定を学び、農家指導へ活かします。

テーマは「剪定を科学する」。剪定の目的から心構え、手順、ポイントなどの基礎から技術的な事まで学びました。

講師を務めた加藤忠雄職員は指導員に対し「樹にはそれぞれ個性があり、それぞれ剪定法が異なる。千差万別の園地に対応することが営農指導員の宿命」と呼び掛けました。

▲営農指導員に剪定を指導する加藤職員㊨

2月12日

地域支援活動および支店だよりコンクール
農家応援フェアー・J通信きらりが最優秀賞

JAは、地域支援活動および支店だよりコンクール審査会を開きました。地域支援活動の部では、伊達地区地域支援課の「農家応援フェアー」、支店だよりの部では、本宮支店の「J通信きらり」がそれぞれ最優秀賞に輝きました。

審査はコロナウイルス感染予防のため事前審査を行いました。審査員らは自主性・継続性・地域の巻き込み・JA事業の利用拡大、紙面構成・記事内容・活用度などのそれぞれの評価基準に基づき採点を行い、最優秀賞1点、優秀賞2点を決定しました。

▲最優秀賞に輝いた農家応援フェアー

▲支店だよりを見比べる審査員

最優秀賞に輝いた「農家応援フェアー」は、コロナ禍で外出を控える人のニーズを捉えたことや商品をドライブスルーで手渡すなどの工夫が評価されました。

同地域支援課の菅野紀子次長は「みんなでやってきたことが評価されて最高にうれしい。今後も組合員のためのイベントを開催していく」と受賞を喜びました。

1月22日

アスパラガス生産拡大目指す
新規栽培者募集説明会

JAアスパラガス連絡協議会は、新規栽培者募集説明会を開きました。同説明会や優良先進地への研修会、助成事業を活用したハウス栽培への移行などにより生産拡大を目指します。

説明会は管内2カ所で開催し、計33人が参加しました。伊達地区本部で開いた説明会では、阿部喜悦同協議会長が「アスパラガスは土づくりが重要。今日の説明会でしっかり学んで、収益をあげてほしい」とあいさつ。その後、県北農林事務所伊達普及所の矢島清行主査がアスパラガスの生態や特性、栽培管理、収益性について説明しました。

▲アスパラガスの説明をする矢島主査

2月2日

フレミズ交流イベント
イチゴスイーツ作りに挑戦

女性部伊達地区本部は、フレッシュミズの交流イベント「旬のイチゴスイーツ作り教室」をみらいホールやながわで開きました。会員やその子どもら23人が参加。旬を迎えるイチゴ「とちおとめ」を使ったスイーツ作りに挑戦しました。

3班に分かれ、野菜ソムリエの担当職員の指導を受けながら、「イチゴとホワイトチョコのしっとりクッキー」「チョコっとイチゴ」「イチゴの生チョコプチケーキ」の3品に挑戦。参加者はお互いに協力しながら、1品ずつ仕上げました。参加した部員は「子どもと一緒に楽しくお菓子作りができて良い機会になった」と話しました。

▲親子でスイーツ作りに挑戦

2月8日

地域農業振興功労者称える
福島市農業賞表彰式

令和2年度福島市農業賞表彰式が福島市のウェディングエルティで開かれ、JA管内から3組が表彰されました。

福島市農業賞は、平成2年度に創設、農業に意欲的に取り組み、顕著な実績をあげている農林業者や団体等を表彰するもの。これまで約80の団体や個人が表彰されています。

表彰式では、木幡浩福島市長が受賞した3組に表彰状を手渡しました。木幡市長は「農業者が誇りと希望をもって農業経営に取り組めるよう、引き続き消費拡大や風評払拭、さらに農業の持続的発展を図る各種政策の推進に努める」と式辞を述べました。

▲福島市農業賞表彰式

農業賞園芸部門を受賞した阿部哲也さんは、果樹農家として意欲的に高品質果物の栽培に取り組み、市認定農業者会会長等を務め、市農業の発展に寄与したことが称えられました。

農業奨励賞次世代農業者部門を受賞した大内徹也さんは、震災直後三重県から移住しゼロから農業をはじめ、地域の中核農家として活躍していることが称されました。

同じく農業奨励賞地域活性化部門を受賞した中村要さんはJA福島地区農産物直売所管理運営委員会会長として、また農業生産者として、地場産の直売・加工などの地産地消活動に尽力したことが称されました。

2月3日

資機材助成で復興加速
営農再開にかかる助成金贈呈式

JA管内の営農再開にかかる資機材購入に対する助成金贈呈式を本店で開き、農林中央金庫から助成金の目録を受け取りました。

令和2年度に水稲を作付けし、事前に申請を受けた南相馬市小高区と飯舘村、川俣町山木屋地区の生産者62戸に対して除草剤や害虫防除剤の費用を10aあたり3,000円助成し、作付け戸数や面積の回復を目指します。

数又清市組合長は「復興はまだ道半ばだが作付け面積は着実に回復している。さらに努力を重ねて復興に全力で取り組んで行く」と話しました。

▲目録を受け取る数又組合長㊥

2月8日

産地維持のため福島市へ要望
剪定枝焼却処理に関する要請

福島地区本部は、「剪定枝焼却処理に関する要請書」を福島市へ提出しました。

近年、モモのせん孔細菌病、ナシの黒星病と重要病害が多発し生産量を大きく減少させている事態となっていて、農作業としての焼却処理が禁止となると果樹産地の維持が困難となります。病害虫防除対策を考える上でも剪定枝の焼却はなくてはならない農作業であるため、今回JAは福島市に対して「農作業の一環である剪定枝焼却処理の例外適用」を要請しました。

▲福島市へ要請書を提出する宝槻直志専務㊥

農の達人が技術を伝承
剪定基準を統一

2月8日

▲剪定を実演する宍戸さん

伊達地区本部は、伊達市梁川町五十沢で柿の剪定統一会を開きました。農の達人の宍戸里司さんが講師を務め、高品質な原料柿生産を目指した剪定を指導しました。

同地区の営農指導員（果樹担当）ら19人が参加。剪定が本格的に始まる前に基準を統一しました。あんぽ柿の原料となる蜂屋柿の剪定について、優良な結果母枝を確保し、作業性の観点から低樹高に仕立てます。

統一会では県北農林事務所伊達普及所の担当者が、剪定のポイントを説明。農の達人の宍戸さんが、実演を交えながら解説しました。

振袖や着物を多数展示
きもの大展観

1月29～31日

安達地区本部は、きもの大展観を同地区本部で開きました。感染対策を行いながら多くの来場者が訪れました。

成人式向けの振袖や着物、時計、ジュエリー、婦人靴などを多数展示しました。来場者は目当てのものを試着し、好みのものを選びました。来場者は「気に入るものを見つけられてよかった」と喜びました。

▲振袖を試着する来場者

綺麗な花で心明るく
女性部園芸研修会

2月6日

女性部小高総合支部は園芸研修会を南相馬市で開きました。部員など11人が参加し、生花店「はなまるガーデン」からバラの剪定方法やシンビジュウムの植え替えなどを学び親交を深めました。

同支部では今年度、「管内の特産品を知ろう」とJA農産物直売所を巡る研修会を行ったほか、家の光の記事を活用した手芸教室などを開催してきました。

参加した部員は「暗い話題が続くが、家に飾って明るい雰囲気を楽しみたい」と喜びました。

▲花で親交を深めた女性部員

集大成で飾り付け
女性大学「つるし雛教室」閉校

1月29日

そうま地区本部は、令和2年度女性大学「つるし雛教室」の最終講座と閉校式を同地区本部で開きました。

最終回の講座には受講者5人が参加。講師の小野佳子さんが昨年7月から計8回開いた教室で受講生らが作成してきたつるし雛の飾り付けを指導しました。

受講生は「楽しく学ぶことができた。また参加したい」と話しました。

▲飾り付けを学ぶ受講生ら

JAの農業振興支援事業を活用

農業所得アップ↑優良事例

JAでは、4億円の予算を確保し、農業振興支援に取り組んでいます。
事業を活用し農業所得が上がった事例を紹介します。

優良事例
そうま地区　キュウリ生産者
栽培品目・面積　キュウリ10ａ

取り組み前年対比（%）販売数量：112%　販売金額：127%

項目	パイプハウス１棟新設
活用した支援事業	令和２年度　園芸施設（パイプハウス）の取得支援
事業活用前の課題	露地と施設で、キュウリ栽培をしていたが収量を増やすため、施設の割合を増やしたいと考えていた。
取り組んだ方策	園芸施設（パイプハウス）の取得支援を活用してパイプハウスの増設を行った。 施設費622,897円のところ、JA助成により311,897円で導入。
令和元年実績 販売数量・販売金額	数量1,199ケース　販売額1,560,758円
令和２年実績 販売数量・販売金額	数量1,348ケース　販売額1,994,847円
取り組み後の成果	施設面積を増やしたことにより、収量が安定し全体で20%前後アップした。
農家コメント	次年度は今年度よりもさらに収量をあげれるよう栽培管理に力を入れたい。
担当営農指導員コメント	今後も巡回指導を行い、活用できる事業を積極的に推進していきたい。

販売情報

せり情報

■ＪＡふくしま未来実績（開催日　2月8日・9日）　単位：円（税込）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	68	68	665,888	883,300	199,100	289	2,301	292	710,183	-44,295
去	84	82	789,733	1,052,700	481,800	317	2,488	278	765,081	24,652
計	152	150	733,590	1,052,700	199,100	305	2,408	284	745,899	-12,309

■福島県家畜市場（開催日　2月8日・9日）　単位：円（税込）

性	入場	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	平均日令	前月価格	前月比
雌	286	285	703,483	1,394,800	199,100	291	2,421	289	699,953	3,530
去	393	388	796,559	1,100,000	66,000	317	2,516	280	758,680	37,879
計	679	673	757,143	1,394,800	66,000	306	2,478	284	735,572	21,571

■乳牛せり市場（開催日　2月18日）　単位：円（税込）

	成立	平均価格	最高価格	最低価格	体重	kg単価	前月価格	前月比
ＥＴ和雌	4	512,875	596,200	442,200	100	5,141	488,400	24,475
ＥＴ和雄	3	493,166	599,500	370,700	101	4,899	626,340	-133,174
乳雄牛	17	119,965	165,000	18,700	78	1,548	70,125	49,840
F1雌（スモール）	49	167,200	234,300	77,000	74	2,245	165,440	1,760
F1雄（スモール）	57	182,697	306,900	42,900	76	2,389	180,659	2,038

和牛せり市場
乳牛せり市場

ワンポイントアドバイス

分娩後の母牛の飼養管理について

産まれた子牛が下痢をしないために、母牛に対し分娩前1週間、分娩後1週間は濃厚飼料を控え良質乾草（チモシー）等を給与しましょう。

令和2年分農業所得検証
～園芸農業売上の50％が経営者所得＋専従者給与＋雇人費～

＜園芸農業売上の50％が経営者所得＋専従者給与＋雇人費 残りの50％が生産コスト・販売費＞

農業ビジネスの方程式は「人件費：（生産コスト＋販売費）＝5：5」と言われています。一方、農林水産省ＨＰ「食料供給コスト縮減に向けた取組」でも、園芸が50％、水稲が30％です。収支内訳書・所得税青色申告決算書がお手元にある時期にご自分の割合をご確認願います。

＜環境制御で反収アップ＞

イチゴ23a 出荷数量 9ｔ 販売額1,464万円
3.9t/10a　636万円/10a(JA目標10a当り4.0t　428万円)
モモ　717万円　原料柿　12万円

＜あんぽ工房利用、 干場管理＞

6万個の皮むき、カビ対策として窓は開け換気扇で換気徹底
あんぽ柿707万円　キュウリ931万円
全量あんぽ工房みらい、キュウリ機械共選出荷

＜農業所得内訳＞（単位：万円）

H30	R1	R2	項目	H30	R1	R2
2,672	2,735	2,193	（売上）①	2,028	1,244	1,638
1	1	1	（自家消費）②	33	33	33
261	462	847	（その他収入）③	437	421	285
84	290	570	＜内損害賠償金＞	368	375	253
2,934	3,198	3,041	収入①＋②＋③	2,498	1,698	1,956
2,850	2,908	2,471	賠償金を除く収入④	2,130	1,323	1,703
76	72	72	（肥料）	72	62	68
148	170	122	（農薬）	38	37	37
609	631	460	（荷造運賃手数料）	679	479	617
0	0	0	（雇人費）	110	106	106
140	214	514	（減価償却）	74	72	111
276	436	468	＜専従者給与＞	300	300	300
1,589	2,346	2,240	農業経費⑤	1,622	1,354	1,519
1,261	562	231	損害賠償金を除く農業所得④－⑤	508	△31	184
1,761	1,502	1,783	本人・家族に発生したお金	1,250	716	848

＜栽培・経営管理＞
ＪＡ出荷90～95％。専従者3名。売上に対し専従者給与・経営者所得で約32％。3,000万円（圧縮後）のハウス取得による減価償却が原因。モモはR1が1,394万円、R2は717万円。H30の57％に回復したい。40代。現状の世帯所得を維持したい。

＜収入保険＞
加入済。R2は対象になるか・・・。

＜営農指導員から＞
農家所得向上に向け、気象経過及び生育状況に応じた的確な情報提供、営農巡回指導に努めて参ります。

＜栽培・経営管理＞
ＪＡ出荷100％。専従者1名。売上に対し雇人費・専従者給与・経営者所得で約36％。キュウリ高値のH30が理想。60代後半。現状の経営を維持できればと思っている。荷造・箱詰作業がなくなり、いつまでも農業を続けていきたい。

＜収入保険＞
検討中。ＪＡ記帳代行で青色申告。R1は対象になるのかな・・・・・。

＜営農指導員から＞
例年悩まされている病害虫を中心とした防除を行いながら、充分な施肥管理と栽培管理を行うことで増収につながりました。

＜ブドウ・雨除け、 主に直売所出荷＞

ほぼ、ブドウ専業 40代
現在　巨峰 20a　ｼｬｲﾝﾏｽｶｯﾄ 20a　その他 10a
数年後　栽培しやすいｼｬｲﾝﾏｽｶｯﾄを30aにしたい

＜オウトウ・モモ・リンゴを主に直売所出＞

オウトウ15a モモ70a リンゴ70a
オウトウの高所作業雇用維持は課題
ＪＡ直売所(2店舗）売上は629万円

＜農業所得内訳＞（単位：万円）

H30	R1	R2	項目	H30	R1	R2
850	1,160	1,399	（売上）①	984	1,005	1,040
2	2	3	（自家消費）②	10	10	11
11	14	80	（その他収入）③	305	15	513
0	0	0	＜内損害賠償金＞	266	5	234
863	1,176	1,482	収入①＋②＋③	1,299	1,030	1,564
863	1,176	1,482	賠償金を除く収入④	1,033	1,025	1,330
16	6	7	（肥料）	18	25	60
10	10	13	（農薬）	69	65	81
34	223	230	（荷造運賃手数料）	61	170	176
68	145	121	（雇人費）	14	20	31
62	114	90	（減価償却）	176	175	152
92	108	154	＜専従者給与＞	0	0	0
660	910	737	農業経費⑤	553	650	871
203	266	745	損害賠償金を除く農業所得④－⑤	480	375	459
357	488	989	本人・家族に発生したお金	922	555	845

＜栽培・経営管理＞
ＪＡ出荷82％。ＪＡ共選620万円、ＪＡ直売所(1店舗）527万円。粒販売を取り入れロス防止。専従者は1名。
令和3年度より直売所手数料は20％になりますが、私の売り上げを維持・右肩上がりにしてくれる直売所でいて下さい。
売上に対し雇人費・専従者給与・経営者所得で約72％。現状の世帯所得を維持したい。

＜収入保険＞
加入手続き中。

＜営農指導員から＞
雨除け栽培で低コストを実現。今後、貯蔵施設の導入等で長期間販売等に検討されてはどうか。

＜栽培・経営管理＞
ＪＡ出荷92％。
令和3年度より直売所手数料は20％になりますが、60・70・80・90代と出荷できる魅力ある直売所でいて下さい。
売上に対し雇人費・専従者給与・経営者所得で約47％。現状の所得をずっと維持したい。

＜農業保険＞
果樹共済金受取。
ＪＡ記帳代行で白色申告。

＜直売所スタッフから＞
会員皆様の売上拡大に向けスタッフ一同取り組んでまいりますので、引き続きご出荷お願いいたします。また、購入者の更なるご利用をお願い申し上げます。

＜キュウリ・ハウス（雨除け） 10a　20t＞

10a 出荷量　20,830kg　販売額　951万円
冬野菜・水稲　2品目　販売額　645万円

＜キュウリ・露地　10a　15t＞

10a　出荷量　15,340kg　販売額　684万円
その他　8品目　販売額　171万円

＜農業所得内訳＞（単位：万円）

H30	R1	R2	項目	H30	R1	R2
1,731	1,824	1,596	（売上）①	818	653	855
16	16	16	（自家消費）②	21	18	18
343	196	222	（その他収入）③	90	47	115
271	104	144	＜内損害賠償金＞	80	30	105
2,090	2,036	1,834	収入①＋②＋③	929	718	988
1,819	1,932	1,690	賠償金を除く収入④	849	688	883
89	101	107	（肥料）	39	40	37
55	54	63	（農薬）	33	18	27
367	425	381	（荷造運賃手数料）	155	131	175
67	73	59	（雇人費）	2	0	0
91	95	105	（減価償却）	22	31	96
104	195	195	＜専従者給与＞	63	99	102
1,262	1,486	1,342	農業経費⑤	528	608	611
557	446	348	損害賠償金を除く農業所得④－⑤	321	80	272
1,023	840	792	本人・家族に発生したお金	486	240	575

＜栽培・経営管理＞
60代。ＪＡ出荷100％。専従者は1名。
キュウリの反収アップは潅水と肥やし。潅水は2日に1回、暑くなれば1日1回。収穫開始以降に栄養剤投入。
売上に対し雇人費・専従者給与・経営者所得で約37％。今後、雇人費を現状維持にして、所得を更に向上させたい。

＜収入保険＞加入済

＜営農指導員から＞
病害虫発生状況に応じた防除や適期追肥が高反収の要因と考えます。

＜栽培・経営管理＞
ＪＡ出荷100％。専従者は1名。
キュウリ販売額は高単価のH30の665万円を上回った。
売上に対し専従者給与・経営者所得で約43％。70代半ば、人生100年時代に向けて持続可能な農業を目指す。

＜収入保険＞加入済

＜営農指導員から＞
栽培期間中の長雨や高温が続いた状況になっても、早めの防除、追肥などを実施したおかげで、着果量を確保することができたからです。

＜今後も紹介したい農業経営体＞

「20代30代農家のための最強農家」
①経営者(本人)に最大の所得を発生させる経営
②経営者本人労働＋雇用労働力で売上最大化・所得の確保
③家族労働で売上及び専従者給与を含めた世帯所得最大化
④直売所100％出荷、周年栽培・周年販売
⑤妻が直売所出荷、夫が共選場出荷で役割分担し売上最大化
⑥環境制御装置等の最大活用で反収最大化
⑦水田10ha～30ha＋園芸(野菜・花卉・果実)の複合個人経営
⑧水田単作＋受託作業請負の大規模経営
⑨（家族労働＋）雇用従業員の最大化で大規模法人経営
＜従業員及びその家族の幸福追求＞
⑩畜産（和牛子牛・繁殖和牛・酪農）

「年金＋農業所得で安心して100才人生を送れる農家」
①初期投資の少ない花卉栽培　②直売所野菜出荷
「売上400・800万円で所得200・400万円農家」
①直売所出荷　②高収益品目栽培出荷
※誌面の都合で、事業座談会で紹介させていただいた、ナシ・リンゴ・オウトウ・菌茸・トルコギキョウ・和牛繁殖・酪農の紹介に至らなかったことご了承願います。

＜潅水装置導入で反収アップ＞

ﾁｪﾘｰﾄﾏﾄ　17a　出荷数量　5,352kg　販売額393万円
3.1t/10a　231万円/10a（ＪＡ目標 4.0t　220万円）
ＪＡ支援事業で点滴潅水装置導入
以降、数量アップするもＲ2は天候不順でダウン

H30	R1	R2	項目
864	747	714	（売上）①
0	0	0	（自家消費）②
70	48	50	（その他収入）③
70	30	25	＜内損害賠償金＞
934	795	764	収入①＋②＋③
864	765	714	賠償金を除く収入④
28	25	26	（肥料）
25	22	25	（農薬）
162	144	143	（荷造運賃手数料）
0	0	0	（雇人費）
16	16	16	（減価償却）
72	32	20	＜専従者給与＞
303	239	230	農業経費⑤
561	526	484	損害賠償金を除く農業所得④－⑤
719	604	545	本人・家族に発生したお金

＜栽培・経営管理＞
ＪＡ出荷100％。専従者1名。肥培管理・根こぶ線虫対策に気をつけている。売上に対し専従者給与・経営者所得で約70％。50代。H30が同じ面積で7.6tだったので再度反収アップに取り組みたい。

＜収入保険＞
R3より加入済。

＜営農指導員から＞
病気の予察・予防対策を継続し、高温等の異常気象に対応できる栽培の見直し。品種の選定から早期・長期安定出荷に取り組む。

コロナ禍と立ち向かった令和2年
単価ダウン、米需給、穿孔細菌病、黒星病、天候不順・・・・

<4月の牛肉単価が前年同期の66%に>

和牛　飼育頭数 140頭　販売数量 71頭
格付け上物率 98%　2,080円/kg
枝肉重量　556kg/頭

<コロナ禍の活動自粛で販売不振>

小菊　48.5a 203,100本　10a当り 41,876本 184万円
（JA目標　3万本～3万3千本　130万円）

<農業所得内訳>（単位：万円）

<栽培・経営管理>
JA出荷100%。専従者1名。高品質出荷・事故率低減・日々の観察・牛舎環境の整備・優良素牛導入に気をつけている。
売上は減少したが国や県等の助成により最終所得は増加した。
JAグループ福島あげて、組合員、地域住民、役職員皆様による消費拡大運動へのご協力を協同組合の理念と共に忘れません。

<収入保険>
既存の制度と比較中。

<営農指導員から>
高い肥育技術により安定した経営が実践されています。

H30	R1	R2	項目	H30	R1	R2
9,982	9,835	9,063	（売上）①	1,144	1,048	1,019
15	15	34	（自家消費）②	2	1	2
1,471	1,140	2,358	（その他収入）③	24	53	64
996	552	771	＜内損害賠償金＞	24	53	64
11,468	10,990	11,455	収入①＋②＋③	1,170	1,102	1,085
10,472	10,438	10,684	賠償金を除く収入④	1,146	1,049	1,021
2,797	2,641	3,137	（飼料）（肥料）	26	26	25
5,524	5,103	4,614	（素畜）（農薬）	73	81	77
95	104	108	（家畜薬）（荷造運賃）	255	239	221
10	0	0	（雇人費）	72	73	52
241	270	212	（減価償却）	34	41	21
100	100	100	＜専従者給与＞	134	170	163
10,371	9,922	9,657	農業経費⑤	786	628	568
101	516	1,027	損害賠償金を除く農業所得④－⑤	360	421	453
1,438	1,438	2,110	本人・家族に発生したお金	553	685	701

<栽培・経営管理>
JA出荷100%。専従者1名。
コロナ禍の活動自粛で販売不振となり、お盆用花束の緊急応援企画、JAグループ福島あげて、組合員、地域住民、役職員皆様による消費拡大運動へのご協力に感謝です。
売上に対し雇人費・専従者給与・経営者所得で約65%。60代前半。雇人費を維持しながら現在の農業経営を継続したいです。

<収入保険>
青色申告。検討中。

<営農指導員から>
計画的且つポイントを押さえた栽培により、連絡協議会の目標を達成できる品目です。また単年度栽培のため、栽培翌年には収入になり、また今年の課題や反省が翌年には改善できる品目でもあります。

<中食(おにぎり・弁当)・外食(レストラン) 需要が減少、 福島県産米の売行き不振、 概算単価ダウン>

水稲 19ha 主食用米8.4ha 飼料用米3.6ha
契約栽培米2.54ha　備蓄米1.06ha
総生産 1,358俵 生産費 12,187円/俵
87,105円/10a

水稲 9.3ha　主食用米 100%
総生産 788俵　生産費11,548円/俵97,849円/10a
野菜（キュウリ・チェリートマト・春菊・小松菜）857万円

<農業所得内訳>（単位：万円）

<栽培・経営管理>
JA出荷100%。
飼料用米はH30の20%。
飼料用米の交付金を含めた売上はH30は1,390万円、R1は1,484万円、R2は1,225万円。
費用は、機械購入による自己作業で肥料39万円増・減価償却145万円増・作業委託料100万円減、面積拡大による地代43万円増、租税公課51万円増、機械修繕費277万円増で増加。
コロナウイルスで令和3年産米以降、更に大変になると感じている。
夏の売上確保のため、ブロッコリーを30a栽培予定。

<収入保険>
これからの農業経営安定に役立つ見込がある。JA記帳代行で青色申告。

<担い手涉外から>
農業所得増加と安定収入、作期分散のため米穀担当と連携し、令和３年度は業務用多収穫米の契約栽培に取り組んでいただきます。

H30	R1	R2	項目	H30	R1	R2 合計	R2 内水稲
811	1,251	1,109	（売上）①	1,788	1,748	1,817	960
12	12	0	（自家消費）②	12	13	13	13
637	410	659	（その他収入）③	403	459	345	295
0	50	386	＜内損害賠償金＞	120	160	88	0
1,460	1,673	1,768	収入①＋②＋③	2,204	2,220	2,175	1,268
1,460	1,623	1,382	賠償金を除く収入④	2,108	2,060	2,087	1,268
104	118	157	（肥料）	204	178	187	59
100	88	88	（農薬）	125	81	96	58
20	22	20	（荷造運賃手数料）	171	140	168	43
0	0	0	（雇人費）	10	0	0	0
204	352	497	（減価償却）	367	424	489	330
0	12	20	＜専従者給与＞	153	153	155	82
755	1,155	1,655	農業経費⑤	1,531	1,624	1,721	910
705	468	△273	損害賠償金を除く農業所得④－⑤	577	436	366	358
909	882	630	本人・家族に発生したお金	1,193	1,173	1,098	770

<栽培・経営管理>
JA出荷95%。
専従者1.5名。
主食用米を作る以上、食味アップに気をつけている。
売上に対し専従者給与・経営者所得で約28.6%。水稲部門もあるので止むを得ない。

<収入保険>
加入手続中。

<担い手涉外から>
個人の経営の傍ら、農地の請負、保全に尽力され今後もよろしくお願いします。

<モモ穿孔細菌病、 春先の天候不順でJAのモモ販売高10億円前年よりダウン>

モモ	120a	R1	1,718万円	R2	1,470万円
	10a当り	R1	143万円	R2	122万円
リンゴ	100a	R1	617万円	R2	622万円

<農業所得内訳>（単位：万円）

<栽培・経営管理>
JA出荷9割。春先の天候不順でモモの販売高が248万円ダウン。穿孔細菌病は辛うじて免れた。売上の50%は人件費として世帯の収入となっており、今後その実額をアップさせていきたい。

<農業保険>
R2はモモの果樹共済で21万円受取。売上前年比89%なので、基準年収の9割以下が対象となる収入保険制度を比較していきたい。
現在、JA記帳代行利用で白色申告。(稼働金額で表示)

<営農指導員より>
生産量・販売高が最大化となるよう定期的な改植をお願いします。

H30	R1	R2	項目
2,400	2,339	2,092	（売上）①
16	14	12	（自家消費）②
251	82	300	（その他収入）③
148	8	182	＜内損害賠償金＞
2,667	2,435	2,404	収入①＋②＋③
2,519	2,427	2,222	賠償金を除く収入④
37	27	32	（肥料）
89	99	92	（農薬）
522	541	470	（荷造運賃手数料）
0	0	0	（雇人費）
108	176	192	（減価償却）
600	600	600	＜専従者給与1人200万円＞
1,775	1,923	1,828	農業経費⑤
744	504	394	損害賠償金を除く農業所得④－⑤
1,600	1,288	1,368	本人・家族に発生したお金

**＜所得税申告期限4月15日に!!
青色申告承認申請も4月15日迄＞**

青色申告承認申請が3月15日から4月15日に延長されております。
現在、農業共済組合及びJAグループ福島が取り組んでいる「収入保険」加入は「青色申告」が条件となります。
是非、白色申告から青色申告への切り替えをご検討願います。
パソコンなしでも可能です。

＜JA記帳代行の取組＞

JAでは担当職員が希望者の記帳代行を行い、東北税理士協会の検証のもと税務申告を正確･迅速に遂行しております。
今回も、7名の記帳代行利用農家の方のデータを活用させていただきました。
また、記帳代行利用農家以外の方からも、毎年、収支内訳書をいただき、将来
①管内農業経営収支の動向把握
②営農指導員・担い手涉外の巡回に役立たせていただきたいものです。

＜楽しく・安心して参加できる旅行企画作り＞

2020年度（4月～1月）の取扱は、前年比12%。福島県民割やGOTOトラベルにて、多少需要が伸びた時期もありましたが、皆様の旅の想い出作りに加われなかったことは、甚だ残念で堪りません。
しかしながら、売上補填のため、お土産品販売やJA直売所・共選場での就労では、大変お世話になり、社員の勉強にもなりました。ワクチン接種後、皆様が楽しく・安心してご旅行に参加できるような企画作りに社員一同アイデアを練りたいと思いますので、なお一層のご支援、ご利用を賜りたく、甚だ失礼ですが本文にてお願い申し上げます。

農協観光(株) 福島支店　様

＜再び福島に多くの観光客を呼び戻したい＞

2020年度(4～1月)の売上は2019年の約５割。10、11月はGoToトラベルキャンペーン、福島県民割りで盛り返しましたが、その後は皆様ご存知の通り、年末からの首都圏を中心とした再度の緊急事態宣言により、旅館業・ホテル業は崖っぷちです。それでも宿泊客が少数でも休業することなく、時短営業にも協力し、日帰り入浴の時間延長を行うなど、利用者が安心して滞在できるよう全従業員で取り組んでいます。ワクチン接種で制限のない外出・移動・飲食となれば、再び皆様の暮らしの中に観光・宴席・宿泊等で日頃のお疲れを癒していただき、再び福島に多くの観光客を呼び戻し、経済効果を上げていきたいと思います。
皆様のお越し、心よりお待ちしております。

摺上亭大鳥　様

**＜コロナ禍での農家の言葉＞
（観光農園）**

毎年5月下旬から桜桃のもぎ取りで開園。しかし、昨年4月はコロナ第1波で県外からの観光客も激減。このまま、モモの季節を迎えたらアウト。思わず地元の理事に「震災の年のように共選場出荷させていただく」と依頼。しかし、幸いにも、桜桃から客は入園し2019年並にはいかなかったが激減は回避できた。
「私達には共選場がある、直売所がある」。

**＜コロナ禍での農家の言葉＞
（県外の学校給食向け小松菜農家）**

一斉休校で学校給食がなくなり、更にイベント自粛で販路を絶たれた。「自分にできることをやろう」と考え、他の食材と併せて飲食店に協力をもらい、「こども弁当」を作り、無償配布で廃棄を逃れた。さらに「小松菜の宅配サービス」で売上を確保した。
農家は、誰もが日々必要とする食品を生産しているのだから、方法さえ工夫すれば、必ず誰かに手にしてもらえると信じた。

農業で活躍する女性を紹介

農業女子

のうぎょうじょし

vol. 01

夢の田舎暮らし
ポリシーを持った栽培で
消費者に安心を

▲ミニトマトの発芽状況を確認する照さん。夏には色とりどりの実がハウスを飾る

地域おこし支援員から農業女子の道へ！

伊達市霊山町で農業を営む菅野照です。東日本大震災の時に福島県でボランティア活動をした事をきっかけに、２０１１年11月に伊達市の「地域おこし支援員」として大阪府松原市から移住してきました。現在は夫、愛犬と石田地区で暮らしながら地区の休耕農地約40ａを活用して、ミニトマトやスナップエンドウ、シュンギクをＪＡに出荷しているほか、ダイコンやニンジンなどの自家消費野菜を栽培しています。

プロフィール

伊達市霊山町

菅野（かんの）　照（てる）さん（43才）

伊達市農業委員会農業委員
元伊達市地域おこし支援員

消費者から生産者の立場へ

長年「野菜はお店で買うもの」だと思っていましたが、以前の勤務先の畑で収穫した野菜を食べた時、その美味しさに衝撃が走りました。その時から「好きな野菜を自分で作ってみたい」と自給自足に憧れを持ち、半年間の農業研修を経て２０１６年に就農しました。

自分で栽培してみると、農家さんの苦労はもちろん農薬の使用量などが明確に見えて「食の安全性」を強く意識するようになりました。消費者へ安全安心な農作物を届けるうえで、まずは生産者の私が安心できる栽培をポリシーに日々作業にあたっています。野菜達は手をかけただけ立派に育ってくれる。作業は大変ですが大変だと思った事はありません。

▲ドライフルーツへの加工にも取り込む

今後の目標

6年前に結婚した時、石田地区に古くから伝わる花嫁行列で地域の皆さんが盛大にお祝いしてくれました。お世話になった地域の伝統を大切に残したいですし、義父が残してくれた歴史ある花ワサビ畑も守っていきたいと思います。近い将来、農家さんの高齢化で水田の耕作放置が増える事も心配です。今後は農作業を省力化できる新たな作付け品目の検討や後継者確保に向けて、農業の魅力を発信していきたいです。

▲スナップエンドウの生育状況を確認

▲収穫最盛のシュンギク

▲月舘桃マルシェで大人気のミニトマトすくい（18年8月）

▲道の駅 伊達の郷りょうぜんの夏祭りに出店（19年8月）

みらいろ 作品展

（順不同）

曳地 美雪さん（伊達市梁川町）

宍戸 フミさん（桑折町）

加藤 洋子さん（二本松市）

清野 カツ子さん（伊達市保原町）

五賀 友子さん（南相馬市鹿島区）

但野 ヨオ子さん（南相馬市鹿島区）

今野 廣子さん（南相馬市鹿島区）

野田 好子さん（伊達市保原町）

佐藤 ヨシさん（二本松市）

鈴木 美江子さん（伊達市梁川町）

佐藤 久子さん（二本松市）

國分 ヒサ子さん（二本松市）

山田 ひで子さん（伊達市保原町）

作品募集中

絵手紙、短歌、俳句、川柳の作品を募集いたします。住所・氏名・年齢・ご連絡先を明記の上ハガキまたは封書にて、お送りください。また、「みらいろ」を見てのご意見、ご感想もお待ちしております。応募締切は3月19日（金）必着です。

短歌、俳句、川柳にご応募の方は、作品の種類をご明記ください。

〒960-0185　福島県福島市北矢野目字原田東1-1
JAふくしま未来「みらいろ作品展」係

※応募多数の場合は、掲載できない場合もございます、あらかじめご了承ください

桑折 ツネ子さん（南相馬市原町区）

橘 美知子さん（伊達市梁川町）

今村 久子さん（伊達市保原町）

鈴木 栄子さん（伊達市保原町）

ご応募いただいた作品は、JAの農産物直売所で掲示させていただきますので、あらかじめご了承ください。

短歌・俳句・川柳

短歌

よく聞いた一年でやんにえって云ったっけ
そうか喜寿ってこういう事か
中島 ヒロ子さん（相馬市）

如月に小雪舞う午後なんとなし
村下孝蔵の「初恋」を聴く
森谷 悦子さん（福島市）

節分の豆まきあとや落花生
拾ひ集めて各部屋廻る
田中 里子さん（南相馬市原町区）

マスク越し笑顔も届けてくれる人
感謝の思いあふれて温し
安田 キミ子さん（伊達市霊山町）

内向きの気持ちを換えて雛仕度
春は名のみのなごり雪降る
西戸 妙子さん（伊達市）

新コロナワクチン接種待ちつつも
副反応を心配しおり
大堀 スサ子さん（新地町）

子は去りて花と香をたく感心な
嫁の仕草が悲しかりけり
宍戸 マリ子さん（福島市）

十年目未だに明けぬこころ闇
楽天田中に背中押されし
平田 一さん（南相馬市原町区）

陽が伸びて一日ながし剪定に
汗をかきかき木の芽膨らむ
佐藤 弘美さん（福島市）

夫亡き寂しさ庭に目をやれば
微笑むように福寿草
佐原 静枝さん（相馬市）

孫も着し産着繕い待つ人は
ひいばあちゃんの優し目となる
大内 由美子さん（南相馬市鹿島区）

本宮のホルスタインショー避難苦の
酪農の友応援にきて
清水 義宏さん（相馬市）

半田おろしの二月の風が
けやき小ずえをまじかとゆらし行く
吉田 英子さん（伊達市梁川町）

巣ごもりの時を忘れし春の風
富田 直子さん（水戸市）

新雪を力出し切り掃く朝仕事
夏山 繁樹さん（福島市）

「結」ごころ今でも残る雪始末
菅井 昭子さん（国見町）

薄氷を粉ごなにして小さき靴
安藤 直子さん（南相馬市鹿島区）

丑年のこよみゆっくり月めくり
吉田 昭雄さん（南相馬市原町区）

浜バレー相撲スタイル倍人気
デクノ坊さん（南相馬市原町区）

美人さんマスクのせいで普通人
藤田 静さん（南相馬市原町区）

節分に孫は時く人兼は鬼
渡邊 等さん（国見町）

震災十年目にまた大きな地震不安続く
清水 里子さん（相馬市）

大地震ふとんをかぶりおびえてる
市山 カツエさん（国見町）

妹の写真に詫びて手を合す
二瓶 久子さん（福島市）

色男口先だけのラブコール
寿 善美さん（南相馬市鹿島区）

春陽より庭に花の芽見いつけた
阿部 京子さん（福島市）

病室の窓から見える冬景色
吉田 ユキさん（二本松市）

ふきのとう芽ぶく春の足音子らの声
今野 純子さん（新地町）

義理人情コロナで変る家の中
鈴木 記代さん（大玉村）

天国は光も空気水もない
佐藤 忠良さん（二本松市）

まわり道する人生もまた楽し
佐藤 衛さん（伊達市保原町）

泣き笑い励ましながら十年目
平間 勝成さん（南相馬市原町区）

楽しんで夢が有りそう組仲間
村田 京子さん（南相馬市原町区）

待ちわびるマスク解放夢ごこち
加藤 よう子さん（二本松市）

俳句

雛飾り孫も3歳スクスクと
松坂 義秀さん（南相馬市原町区）

春泥に遊び喜ぶ子等の靴
永倉 重子さん（福島市）

知らぬ間に紅梅咲いて癒される
富田 タツ子さん（南相馬市小高区）

年賀状「コロナに注意」と添えて書く
笠原 富美子さん（福島市）

春めくや時節の花も踊りだす
渡辺 絹子さん（福島市）

友達の思い伝わる友チョコ
中野 里桜花さん（相馬市）

風花や心はあつしバレンタイン
佐藤 文子さん（伊達市保原町）

春の野の芽吹を感じ我元気
前原 ゆう子さん（南相馬市小高区）

桃の花成長祈りひなまつり
鈴木 恵美子さん（伊達市保原町）

庭先で春待ちどおし福寿草
岩佐 良子さん（新地町）

川柳

菅総理原稿読むも先読めず
山本 松太郎さん（本宮市）

震度6不安な一夜朝を待つ
梅村 チヨさん（南相馬市小高区）

御破算願いましてはワクチン勝
三浦 良一さん（南相馬市原町区）

悪コロナ世界を苦しめ次の手は
藤原 菊雄さん（南相馬市原町区）

吾が日本コロナに勝って旗上げは
太田 三秀さん（南相馬市原町区）

大相撲醍醐味はチョコットで勝ち
藤原 和江さん（南相馬市原町区）

話す人形一人暮しの活用人
太田 幸子さん（南相馬市原町区）

新年も寝てもさめてもコロナ禍風
引地 茂さん（南相馬市原町区）

知事選に女だけ、男川流か
藤原 實さん（南相馬市原町区）

森相撲ウッチャリ負けバトンも落ち
藤原 元気さん（南相馬市原町区）

創造的自己改革実践中!! vol.36

RPA本格稼働　業務効率化

ＪＡ自己改革の取り組みとして、ロボティック・プロセス・オートメーション（RPA）システムを本格稼働させました。ロボットが事務処理を自動的に行い、大幅な事務作業の効率化、利用者等の利便性向上を実現します。

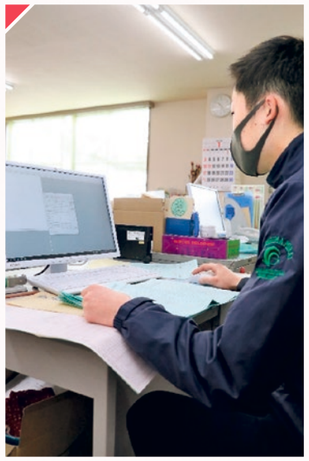
昨年９月に導入を決め説明会や研修を経て、今年１月に本格稼働に乗り出しました。

使用するツールは世界一のシェアを誇る「Automation　Anywhere」。当ＪＡが全国に先駆けて導入したもので、パソコンでの入力作業や伝票作成などを自動化する技術。手書きの注文書などを光学式文字読み取り装置（OCR）で読み取り、データ化します。

これまで、農家から届く農薬や肥料などの注文書は各店舗がとりまとめ、職員が手書きの注文書を１枚１枚入力していて、作業負担が非常に大きいものでした。ＪＡ電算センターによる検証では、月当たり 73%の業務量削減効果があるとの結果が出ており期待が高まっています。

１月 28 日にＪＡ福島地区飯坂営農センターで稼働を開始。同営農センターの今野祐樹職員は、注文書をスキャンし、データを確認する作業を行いました。今野職員は「業務量や入力ミスなどが減らせる」と話していました。

今後は、各地区の営農センターや物流センターで順次稼働を進めていきます。



創造的自己改革へのさらなる挑戦 !!　みなさまの評価・応援が私たちの力になります!

教員から学生、学生から・・・

農業の現場で学ぶ vol.01

福島大学 学生日記

福島の魅力的な発酵食品

食農学類教員からバトンを引き継ぎ、今月から食農学類学生が本コラムを担当させていただくことになりました！記念すべき第1回目を担当します、食農学類1期生、阪谷うるです。私は食品科学コースに所属しており、食品の持つ機能性や栄養素の分析について学んでいます。今、興味を持っている分野は発酵・醸造学です。福島県には酒や味噌、醤油などたくさんの魅力的な発酵食品があります。それら福島県産発酵食品にしかない機能性や栄養素を見つけ、さらなるアピールにつなげていきたいと思っています。

さて、食農学類にはまだ3つの分野の異なるコースがあります。来月は農業経営コース所属で学生自治会の学鴇会（がくほうかい）会長の伊與君（1期生）にお願いしたいと思います！

もちろん今後1期生だけでなく、2期生、3期生も登場する予定です。ぜひお楽しみに！

Instagram

食農学類一期生
食品科学コース
阪谷 うる

SNSで活動状況を随時発信！
@学鴇会（がくほうかい）

元気にすくすく みらいっ子

福島地区

飯坂東支店
西方 竜也さん、慶子さんのお子さん

元気に仲良く大きくなあれ！

杏（あん）ちゃん（1歳）　暖真（はるま）くん（5歳）

安達地区

大玉支店
菅野 寿希也さん、蘭さんのお子さん

思いやりのある優しい子に育ってね。

天亜（そあ）くん（2歳）

そうま地区

小高総合支店
三浦 将樹さん、順子さんのお子さん

すくすくげんきにそだってね。

優愛（ゆあ）ちゃん（7歳）
愛菜（まな）ちゃん（5歳）　優樹（ゆうき）くん（4歳）

伊達地区

梁川総合支店
秋葉 洋さん、李 倩(リ ちぇん)さんのお子さん

お兄ちゃんと一緒に記念撮影いいね。

悠人（ゆうと）くん（8歳）　政人（まさと）くん（11歳）　博人（ひろと）くん（12歳）
結衣（ゆい）ちゃん（5ヶ月）　俊人（しゅんと）くん（2歳）

みらいろ ポイントカード 協力店紹介

みらいろポイントカード協力店でオトクなサービスを受けよう!

ここではみらいろポイントカードを提示することで、サービスが受けられるお店を紹介します。

愈肴家(イザカヤ) 宴(エン)

福島市

福島牛や県産の食材を使った居酒屋です。

サービス内容
串焼2本サービスまたはデザートサービス

住　　所 福島市置賜町4-1バラビル2F
営業時間 17:00～23:00
定 休 日 日曜日
T E L 024-521-8640

milk little garden room

福島市

キッズスペースがあるので、お子様連れでも安心してご利用いただけます。駐車場の都合上、必ずお乗り合わせてご来店下さい。

サービス内容
次回使える200円引券進呈

住　　所 福島市御山字仲ノ町103-8
営業時間 11:00～18:00
定 休 日 火曜日・第3日曜日
T E L 024-502-0168

㈲五十嵐モータース

福島市

地元密着型の整備工場です。

サービス内容
車検時に工賃1割引、ティッシュ1箱サービス

住　　所 福島市飯坂町中野字柴田13-7
営業時間 8:30～17:30
定 休 日 日曜日・祝日
T E L 024-542-4759

中国料理桜華楼

国見町

麺類 、ご飯類 、いろいろありますが、中でも冬虫夏草 ラーメンがおすすめです。

サービス内容
小鉢のおかず一品サービス

住　　所 国見町大字西大枝字堤前25
営業時間 平　日11:00～14:00
土日祝11:00～14:00、
17:00～20:00
※LOは10分前
定 休 日 火曜日
T E L 024-577-0305

㈲ダイワプラン

伊達市

広告の事なら何でもご相談ください。

サービス内容
粗品進呈

住　　所 伊達市宮前23-19
営業時間 8:00～17:30
定 休 日 日曜日・祝日
T E L 024-597-7708

㈱マルコ物流

二本松市

低温倉庫で農産物を大切に保管させていただきます。

サービス内容
各種見積無料

住　　所 二本松市宮戸68-11
営業時間 8:00～17:00
定 休 日 日曜日・祝日
T E L 0243-22-9999

光建設㈱

本宮市

真心・技術・信頼、大工さんが建てる家、ご縁があり、初めてご相談を受けた日からお客様の家づくりの思いに寄り添い完成し新居での生活がスタートするまで担当者がサポート。

サービス内容
①相談、見積もり無料
②「ふくしま家づくりの本」進呈(新築住宅のお見積りご希望の方に限ります)

住　　所 本宮市本宮字戸崎7-1
営業時間 8:00～17:00
定 休 日 日曜日・祝日
第2・第4土曜日
T E L 0243-33-2370

杉田自動車整備工場

二本松市

車検、板金塗装、新車中古車販売、レンタカーなどお車のことなら何でもご相談ください。

サービス内容
車検時粗品進呈

住　　所 二本松市杉田町二丁目96
営業時間 8:00～17:00
定 休 日 日曜日・祝日
T E L 0243-22-2797

北相鈑金塗装工場

新地町

各種自動車の整備、車検、鈑金塗装など全ておまかせ。東北運輸局認証・優良自動車整備事業者・特殊整備工場。

サービス内容
車検時、修理工賃の10%割引

住　　所 新地町駒ヶ嶺字古海道西40
営業時間 8:30～18:00
定 休 日 日曜日・祝日
T E L 0244-62-3059

㈲佐藤モータース

飯舘村

車の相談は当店へ。

サービス内容
車検時にウォッシャー液1本プレゼント

住　　所 飯舘村飯樋字西原398-3
営業時間 8:00～17:00
定 休 日 日曜日・祝日
T E L 0244-43-2316

さらに協力店を知りたい場合は、各直売所に置いてある「協力店ガイド」をご覧ください。

ドローンで見る ふくしま未来

安達地区（本宮市）

本宮台からみる本宮市の街並み

本宮市には宮城県まで続く一級河川の阿武隈川が流れ、奥には日本百名山に選定される安達太良山が綺麗に見えます。

ホームページで動画もご覧いただけます。
https://www.ja-f-mirai.or.jp/link/?drone
JAふくしま未来 ドローン動画集　検索

お知らせ

福島県沖地震により被災されたJA共済ご加入の皆様へ

このたびの福島県沖を震源とする地震により、被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆様のご健康をお祈りいたします。

今回の地震により建物または動産に損害を受けられた方は、JAまでご連絡いただきますようお願いいたします。今後、JAの損害調査員等が被害状況調査のためにお伺いいたしますので、ご協力をお願いいたします。

農産物直売所でスマートフォンQRコード決済をご利用いただけます!!

お支払方法として従来のクレジットカード決済のほかに新たにQR決済のご利用が可能となりました!! PayPay、LINEPay、d払い、au PAY等のQRコード決済をご利用いただけます。お支払いの際にQRコードをご準備頂き、どうぞお気軽にご利用ください。

ご利用いただけるQRコード決済

LINE Pay　Jcoin　d払い　微信支付 WeChat Pay　au PAY
銀行Pay　Pay　Alipay　PayPay　Bank Pay

お問い合わせ先　営農部 食の旬みっけ課　TEL：024-573-0759

令和3年度　地域くらし活動支援事業

JAふくしま未来は、地域貢献・活性化に取り組むグループ・団体を応援します！

支援総額 500万

ＪＡふくしま未来は、組合員・地域住民が「安心して暮らせる・住みよい元気な地域社会」づくりに貢献するため、地域の特色（歴史、自然、文化等）を活かし「地域力」を発揮しながら、地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等の活動を応援します！

●支援内容
地域への貢献や活性化に資する活動（くらしの活動、高齢者福祉活動、環境保全活動等）や非営利目的事業の立ち上げ等に対して、活動費を１団体上限10万円までを基本としＪＡで支援金を交付いたします。

●対象グループ・団体
ＪＡの組合員・地域住民が構成員で地域のイメージアップ、活性化に取り組むグループ・団体を対象とします。

<条　件>
①ＪＡふくしま未来管内に活動拠点を有している。
②団体構成員の一部がJAふくしま未来の組合員（正または准組合員）であること。
③ＪＡふくしま未来から助成金を受けている（受ける予定がある）団体でないこと。
④宗教活動または政治活動を行う団体でないこと。
⑤活動費が国・地方自治体から全額補助で運営している団体でないこと。

●申請方法
お近くのＪＡ支店・事業所または地区本部へ申請してください。
事業の詳細については、地区本部の地域支援課またはお近くの支店・事業所へお問い合わせいただくか、ＪＡふくしま未来のホームページ（https://www.ja-f-mirai.or.jp）でご確認ください。

●活動期間
令和３年３月～令和４年１月までに実施する活動が支援の対象となります。

●募集期間
令和3年3月1日（月）～ 8月31日（火）まで
（各地区本部必着）

●支援対象となる活動
◆くらしの活動・地域活性化に係る活動
◆農業振興に係る活動
◆伝統・芸能・文化に係る活動
◆健康増進・管理に係る活動
◆高齢者福祉・介護・自立支援に係る活動
◆環境保全に係る活動

※当支援事業から支援を受けたことのある団体は、同一の目的および同一のイベントを対象とする内容の活動では申請できません。
※当支援事業を活用し、備品の購入や修繕を目的とする申請や、営利を目的とする申請は支援金の対象とはなりません。

注意事項
※支援金振込先口座は、ＪＡふくしま未来で開設した口座へ振り込みいたします。
※当支援事業は、人件費または懇親を深める目的の飲食費、活動外で利用可能な汎用性が高い備品、修繕費は支援金の対象とはなりません。
※新型コロナウイルス感染症防止対策を十分に講じた上での活動をお願い致します。

クロスワードパズル

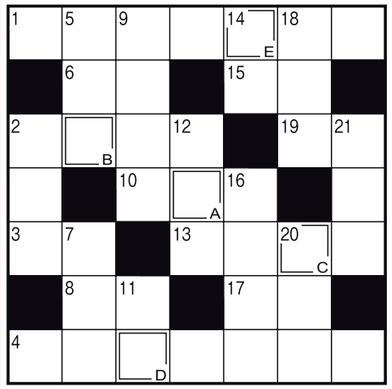
タテのカギ

2　お稲荷さんのお使いです
5　小さな子どもに読み聞かせることも
7　一を聞いて――を知る
9　ひいて木を切ります
11　赤、白、八丁といえば
12　授業が始まる前に鳴ります
14　4月1日のエイプリルフールにはついてもいいとか
16　金太郎は長じて坂田――となりました
18　にっこりするとへこみます
20　精製してガソリンを作ります
21　日光市の景勝地の一つ、――の滝

ヨコのカギ

1　東京の桜の名所。西郷隆盛像があります
2　ランチュウやコメットはこの一種
3　ドライバーで締めたり外したり
4　威力があって速い球のこと
6　ムジュンのムが表す物
8　矢をつがえます
10　スマホの検索――を削除した
13　うずら豆は、――豆の品種の一つです
15　靴を数えるときに使う言葉
17　1000kgは1――です
19　漢字で書くと木瓜。美しい花が咲く植物です

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

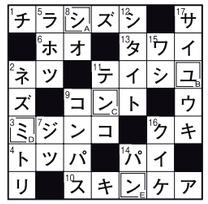


応募締切 3月19日㈮（必着）

宛先　〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東1-1 JAふくしま未来「広報誌クロスワードパズル」係

応募方法　官製ハガキに、①パズルの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名 ⑤年齢 ⑥職業 ⑦電話番号 ⑧JAや広報誌に関するご意見、ご要望、地域の話題等を記入の上、上記の宛先までご応募ください。

記載された個人情報は、賞品の発送以外の目的には使用いたしません。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



正解者の中から抽選で「みらいろオリジナルグッズ」を10名様にお送りさせていただきます。

先月号の答え　シA　ユB　ンC　ミD　ンE

JAふくしま未来の概要

令和3年1月末現在

組合員数（正）	46,069人
〃（准）	48,623人
役員数 理事	53人
〃 監事	8人
職員数	1,220人
准職員数	280人
出資金	16,399百万円

事業実績

購買品供給高	8,764百万円
販売品販売高	27,289百万円
貯金高	728,857百万円
貸付金高	197,685百万円
長期共済保有高	2,477,824百万円

理事会報告

第12回理事会　日時／令和3年1月29日（金）　場所／JA福島ビル10階　1001会議室

■ 協議事項 ■

議案第１号　令和3年産米需給調整・複数年契約の取り組みについて
議案第２号　令和3年度事業計画（案）について
議案第３号　准組合員にかかる意思反映・運営参画促進要領の設定について
議案第４号　福島地区 支店電算統合（統合先（母店）の変更）並びに茂庭給油所閉店予定日の変更について
議案第５号　令和2年度仮決算監事監査回答書（案）について

編集後記

新年度のスタートです！広報誌「みらいろ」一新いたしました。読者の皆様いかがでしょうか？

今年度も「読んで楽しい、知ってためになる」広報誌作り、広報課一同一生懸命邁進してまいりますのでよろしくお願いいたします。　（塁）

野菜をつくろう！

家庭菜園のススメ

ＪＡの営農担当者監修のもと、「これから野菜をつくってみたい！」と考えているみなさんに役立つ情報をお届けします♪
第1回は、『トマト』～完熟でおいしさアップについて～です。

トマトのふるさとは日照量が多く、昼夜の気温差の大きい南米アンデス地方。生育適温は昼間25～30℃、夜間10～20℃です。トマトは低温に弱いので、遅霜の恐れがなくなってから植え付けます。

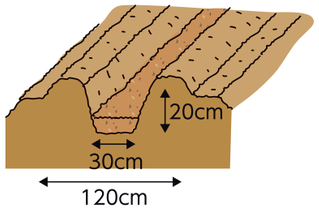
品　種

大玉トマトでは「ホーム桃太郎」、「麗夏」などがおすすめです。中玉では「フルティカ」、ミニでは「TY千果」、「アイコ」などが良いでしょう。

畑の準備

予定の畑1㎡当たり苦土石灰100gをまいて土とよく混ぜておきます。次に、120cm幅のベッドの中央に幅30cm、深さ20cm程度の溝を掘り、ここに植え付けの1週間前に基肥として1m当たり化成肥料（NPK各成分10%）200g程度と堆肥2～3kgを施しておきます。ベッドには黒のポリフィルムでマルチをします（図1）。

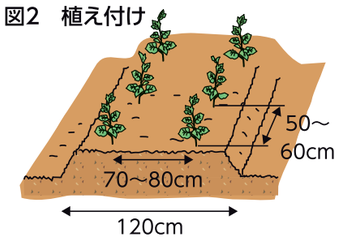
図1　畑の準備



植え付け

植え付けの間隔は2条植えでは条間70～80cm、株間50～60cmとします。植え付け適期は、1段花房の1～2花が咲くときで、この花が通路側に向くように植えます（図2）。開花前の「若苗」を植えると、生育が旺盛になり「木ぼけ」と呼ばれる過繁茂になりがちです。

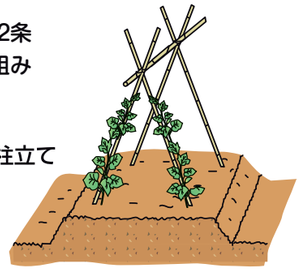
図2　植え付け



支柱立て

2m以上の支柱を2条植えでは合掌式に組み立てます（図3）。

図3　支柱立て



芽かきと摘果・摘心

脇芽は小さいうちに指で摘み取ります。1果房に果実が4～5個となるよう小さな実、変形した実を除きます。収穫果房数は4～5段として最上段の果房上の2葉を残し、摘み取ります。

追　肥

1回目は1番果がピンポン玉の頃にベッドの肩の辺りに浅い溝を切り、ここに化成肥料を片側1m当たり30g程度まき、土寄せします。ポリマルチをした場合はマルチの両側に肥料を散布し、土を掛けておきます。その後半月に1回を目安に2～3回追肥します。

病害虫防除

梅雨時の大敵は疫病で、Zボルドーなどで予防します。また、アブラムシには植え付け時の植え穴にオルトラン粒剤などの土壌施用剤を混ぜ込んでおくと予防効果があり、発生したらサンクリスタル乳剤などで防除します。

収　穫

開花から収穫までの日数は、気温で異なりますが、夏季で大玉は40日前後、ミニで30日前後です。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています

園芸研究家●成松次郎

今月の直売所出荷者さん

カロテンやビタミンCをはじめ栄養素がバランスよく含まれています！

新地町小川

大槻　いつ子さん（71）

約1haのほ場でニラを栽培する大槻さん。約15年前から本格的に取り組み、ＪＡの農産物直売所「ふれあい旬のひろば」や共選への出荷をしています。安全安心で美味しいニラ作りにこだわっています。おひたしや天ぷらなど、独特の風味と食感で人気のニラを是非ご賞味ください。

直売所イベント情報

ここら全店

春彼岸セール
3/16（火）～20（土）

納豆の日
3/7（日）・17（水）・27（土）

みらい百彩館 んめ～べ

春彼岸セール
3/16（火）～20（土）

こらんしょ市 二本松店・本宮店

春彼岸「大花市」
3/16（火）～20（土）

こらんしょ市の日
3/15（月）～16（火）

月末の市
3/29（月）～31（水）

ふれあい旬のひろば相馬・旬のひろば原町

春彼岸セール
3/17（水）～21（日）

旬の味覚の特売
毎週金・土・日

JAふくしま未来
ふくしま未来農業協同組合　〒960-0185 福島県福島市北矢野目字原田東1-1
編集：改革推進部広報課　TEL 024-573-7121　URL http://ja-f-mirai.or.jp/